



株主通信

2020年12月期第4四半期業績のご報告

(2019年10月1日～2020年9月30日)

株式会社 **日本マイクロニクス**

証券コード：6871

本株主通信は2020年6月末時点での株主の皆様にお送りいたしますことをご了承ください。

■ 株主・投資家の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

第4四半期累計期間の半導体市場におきましては、大国間の貿易摩擦により商流等の混乱が若干あるものの、低調であった車載やモバイル機器等の分野での需要が下げ止まった他、テレワーク、ゲーム、教育等の用途で使われる最終アプリケーションの出荷台数が高水準だったことで、メモリ、ロジックともに需要が堅調に推移しました。また、次世代通信規格（5G）や人工知能（AI）、IoT等、将来の半導体消費をけん引すると目される分野においても、需要は底堅く推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、TE事業の構造改革を通して長期目線での業績回復に取り組むとともに、変動の激しいプロブカード需要をしっかりと取り込む活動に注力してまいりました。

この結果、第4四半期累計期間の経営成績は、売上高31,589百万円、営業利益2,076百万円、経常利益2,251百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,503百万円となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の対応に関しましては、引き続き日本及び各国政府や各自治体の要請を遵守するよう社員に周知徹底し、社員及びお客様をはじめとするステークホルダーの安全確保を最優先としつつも、製品やサービスの供給、提供に向けて責任ある対応に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

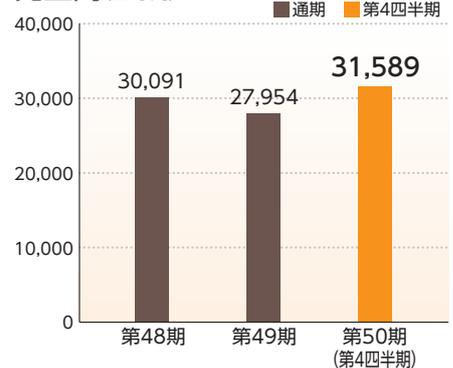
代表取締役社長 **長谷川 正義**

※[新型コロナウイルス感染症への当社の対応]についての詳しい情報は、当社ウェブサイトをご覧ください。

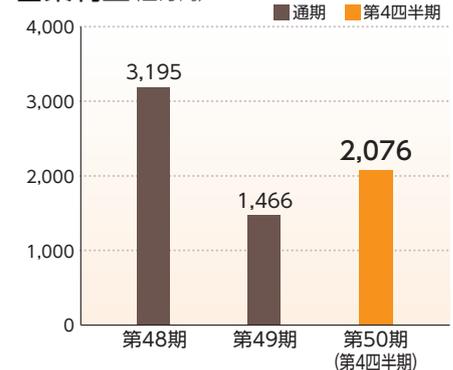
<https://www.mjc.co.jp/>



売上高(百万円)



営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(百万円)



■ 営業の概況

プローブカード事業

売上高は、ロジック向けが低調でしたが、メモリ向けはモバイル分野での需要が堅調に回復しました。サーバ向けが好調だった前四半期と比べセグメント利益は下がりましたが、総じて底堅く推移しました。

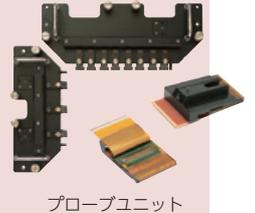
この結果、売上高は29,882百万円、セグメント利益は4,541百万円となりました。



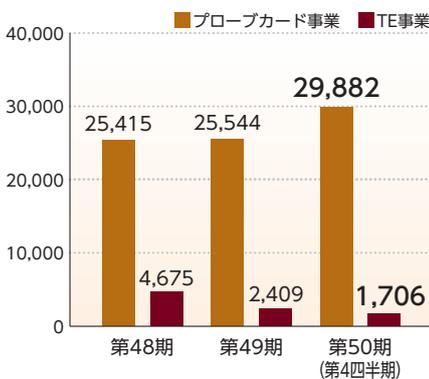
TE事業

売上高は、プローブユニットが安定的なビジネスを継続しましたが、FPD及び半導体関連の装置は伸び悩みました。また、利益面におきましては、仕掛品に対する引当金繰入額が増加し、低調となりました。

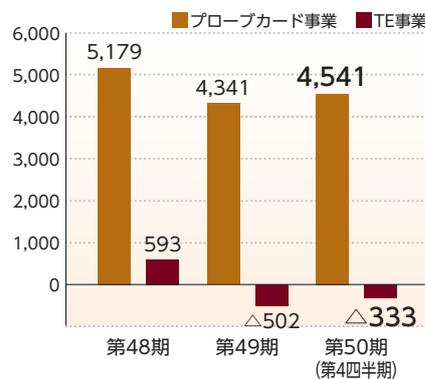
この結果、売上高は1,706百万円、セグメント損失は333百万円となりました。



セグメント別売上高(百万円)



セグメント損益(百万円)



※セグメント損益には、全社費用は含まれません。

地域別売上高構成比(百万円)



日本	5,077 (16.1%)
韓国	10,034 (31.8%)
台湾	8,521 (27.0%)
その他アジア	6,023 (19.0%)
欧州・米国	1,934 (6.1%)

■ 業績・配当予想 (2020年11月11日現在)

売上高	営業利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり配当額
41,100 百万円	2,100 百万円	2,400 百万円	22円

*決算期変更により、当期会計期間は、2019年10月1日から2020年12月31日までの15ヶ月(5四半期)となります。



創業50周年を迎えるにあたり、5回にわたってMJCの歴史を振り返ります。

第4回 MJCの国内拠点

日本マイクロニクスの本社は東京都武蔵野市にあります。創業当時は、ここで開発から生産まで全てを行っていましたが、1980年代に入り多様化するFPDと半導体検査の要求に応えるため、青森県に生産拠点を開設しました。さらに、当時多くの半導体デバイスメーカーが九州へ進出していたことから、大分県と熊本県にも生産・販売拠点を新設し、サービス体制の充実に努めてきました。

青森工場は主力製品であるU-Probeを中心に、プローブカードやテストソケットの開発・製造を行うMJC最大の工場です。青森松崎工場ではプローブユニットやウェーハプローバなどのTE事業製品、大分テクノロジラボラトリーでは主にロジック向けプローブカードの開発・製造を行っています。MJCすべての拠点では、QDCCSS*に基づき、社会の安心・安全を支える製品を提供すべく、日々励んでいます。

*QDCCSS(呼称:クダックス)…当社独自の総合管理システム。製品の開発から製造、資材、物流、管理、システム構築のあらゆる段階において、すべての社員の力を結集してQuality, Delivery, Cost, Compliance, Service, Safetyの改善及び改革に取り組んでいる。



上:青森工場正面 下:青森工場全景

■ 株式事務についてのご案内

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 連絡先 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(通話料無料)
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部



本社 〒180-8508 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-6-8
 HPアドレス <https://www.mjc.co.jp/>